

釧路地区 教育経営研究会

- 1 目 的 北海道小学校長会・北海道中学校長会、及び地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を取り上げ、その解決の方途を法制研究の視点から探る。
- 2 主 催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後 援 北海道教育庁釧路教育局
釧路管内教育委員会連絡協議会
釧路市教育委員会
- 4 主 管 釧路市小・中校長会（主管） 釧路校長会
- 5 日 時 令和7年8月28日（木）
- 6 会 場 配信会場 デジラポ（オンラインによる開催）
- 7 参加者 釧路管内小中学校長会員他（79名）
- 8 日 程 12時45分～13時00分 受 付
13時00分～13時10分 開 会 式
13時10分～13時45分 全 体 会①
13時50分～14時50分 全 体 会②・分 科 会
14時50分～15時00分 閉 会 式
- 9 全体会①
 - （1）一般情勢報告
北海道中学校長会 事務局次長 前田 真志 氏
① 道小・道中説明
 - ・北海道教育振興を目的に活動
 - ・研究大会の開催（R7：道小～根室、道中～胆振・室蘭）
※全連小大会～R8 札幌大会
 - ・道小・道中の活動～総会・研修会・理事研修会・全道会長研修会・事務局研修会
 - ・関係団体への役員の派遣
 - ・刊行物紹介
 - ・組織の運営 「チーム北海道」で
 - ② 教育情勢全般について
- （2）釧路地区からの質問事項に対する回答
北海道小学校長会 経営部幹事 内海 洋 氏
北海道中学校長会 経営部幹事 岡田 一之 氏
 - ・次期学習指導要改訂に基づく調整時数5分の運用について
 - ・SC, SSW 増員の進捗状況について

- ・小学校の教科担任制について
- ・教員育成指標の改訂について
- ・働き方改革と校務支援システムについて
- ・義務教育学校の施設分離型における隣接距離の基準について
- ・部活動の地域移行について

10 全体会②・分科会

(1) 提言A 弟子屈町立弟子屈中学校長 小林一博

①提言の概要

「弟子屈探究のミライ予想図 ～ジョイントとしての弟中実践を例に～」

- ア 弟子屈町探究的な学びの現在地
- イ 弟中版「ふるさと学習（弟子屈学）」の試行実践
- ウ 地域とともに推進する探究学習の実践と可能性

(2) 提言B 標茶町立標茶小学校長 辻川智宏

①提言の概要

「学校経営の充実に向けた人事評価シートの活用」

- ア 評価シート活用における課題
- イ 今年度の標茶町内小・中学校の取組
- ウ 成果と課題

(3) 分科会（ブレイクアウトルームを活用したグループ協議）

①A分科会

- ア ネーミングがうまく、子どもが学習内容をイメージしやすい。
- イ 目指す学校像の共有、探究、ふるさとをつくる人の視点が大切である。
- ウ 持続可能な取組にするため成果と課題などを管理職だけでなく教員も共有していくことが必要。
- エ 学習内容を固定してしまうことの危惧があるので、探究のサイクルが働くような柔軟さが必要である。
- オ 校種別において共通した「弟子屈探究」として位置づけ、12年間の具体的な学びを中学校がジョイントとなり系統性を持たせていた。
- カ 釧路市内では高校との接続が難しく、課題となる。

②B分科会

- ア 初任段階層へどのように力を身につけさせるか、学校設定項目を工夫する必要がある。
- イ 人事評価シートの学校設定項目に「学校経営のコンセプト」の3項目から重点を設定し、面談時に管理職にプレゼンするという標茶小学校の取組は、学校経営の充実、教職員の資質能力の向上を図る上で、大変参考になった。
- ウ 人事評価シートを活用して教職員個々の資質能力やモチベーション向上にどのようにつなげていくかに課題がある。
- エ 自分の学校経営方針にいかに近づけてもらうかを考えると、今回紹介いただいた取組が有効だと感じた。
- オ 記述内容の個人差・温度差がある。上手に引き出していないことが反省点である。
- カ 学校評価項目を経営の方針と教員の取組がリンクできるように工夫して目標を記載させたりすることが大変参考になった。

11 閉会式 事後アンケートを依頼し閉会。